

## 【小児科】

令和4年度は田中岳、村井英四郎の常勤医2名体制で診療を行いました。

一般小児科については、外来、入院とも、気管支喘息、肺炎、胃腸炎といった一般的な疾患から川崎病、熱性けいれん、アレルギー疾患、尿路感染症など多岐にわたって、当院で対応可能な症例の診療をしています。その他、予防接種や乳幼児健診などの保健活動も積極的に行っています。

当院では年間400件ほどの分娩があり（令和2年度より柏崎刈羽地区の分娩可能施設が当院のみとなりました）、正常新生児の診察のほか、早産、低出生体重児や新生児一過性多呼吸、新生児黄疸などの新生児の入院管理も行っています。集中治療管理が必要な重症の新生児はNICUのある長岡赤十字病院、新潟市民病院、新潟大学医歯学総合病院などに搬送しています。

令和4年度はオミクロン株の流行に伴い、小児COVID-19入院患者が著増しました。また、COVID-19感染母体の分娩取り扱いを開始したため、感染母体から出生した児の管理入院も行っています。

### 令和4年度 小児科入院診療実績

分野	人数（人）
呼吸器疾患・感染症（気管支喘息、肺炎など）	136
消化器疾患（胃腸炎など）	19
神経疾患（熱性けいれん、てんかんなど）	3
アレルギー疾患（アナフィラキシーなど）	3
食物経口負荷試験	11
免疫疾患・膠原病（川崎病、IgA血管炎など）	5
腎疾患（尿路感染症など）	9
新生児疾患（新生児一過性多呼吸、新生児黄疸、低出生体重児など）	67
COVID-19、COVID-19感染母体より出生した児	26
その他	13
合計	292